

令和6年度地域文化功労者表彰（文部科学大臣表彰）の 被表彰者の決定について

令和6年度地域文化功労者表彰（文部科学大臣表彰）の被表彰者が決定されましたので、お知らせします。

1 令和6年度本県被表彰者

氏 名	住 所	分 野
多田 佳屯子	和歌山市	声楽家
林 尚夫	和歌山市	文化財保護

※功績等詳細は別紙のとおりです。

2 表彰の趣旨

全国各地域において、芸術文化の振興、文化財の保護に尽力する等地域文化の振興に功績のあった個人及び団体に対して、その功績をたたえ文部科学大臣が表彰します。

3 表彰式

(1) 日 時 令和6年11月20日（水）15時30分～16時25分

(2) 場 所 京都府立府民ホール アルティ

（京都市上京区烏丸通一条下る龍前町590－1）

（連絡先）	
担当課	多田 佳屯子 関係 企画部 企画政策局 文化学術課
担当者	北代 073-441-2050（内線 2060）
担当課	林 尚夫 関係 教育庁 生涯学習局 文化遺産課
担当者	岡田 073-441-3730（内線 3736）

令和 6 年度 地域文化功労者表彰（文部科学大臣表彰）被表彰者について

氏 名 多田 佳屯子
生 年 昭和 14 年
現住所 和歌山県和歌山市

氏は昭和 14 年に和歌山県和歌山市に生まれ、昭和 35 年 3 月武蔵野音楽大学短期大学部声楽科を卒業。昭和 38 年から 27 年間、和歌山県内の高等学校で音楽教員として指導を行う。

大学卒業後の昭和 37 年から音楽活動を本格的に開始。リサイタルやジョイントリサイタルを多数開催し、和歌山市交響楽団の定期公演等に出演。昭和 39 年に和歌山市民オペラ協会（和歌山ふるさとオペラ実行委員会から改称）の前身である和歌山声楽研究会を設立。以来、代表として数々の定期公演に出演、国内外の著名なアーティストを招聘するなど、本格的なオペラ文化を和歌山に根付かせるための活動を 60 年以上の長きにわたり情熱をもって行ってきた。

和歌山市民オペラ協会の公演実績は 60 回以上に及ぶ。平成 8 年及び 10 年には県外で開催された国民文化祭に参加し活動の場を広げたほか、令和 3 年開催の紀の国わかやま文化祭 2021 では、氏プロデュースによる新作オペラ「稲むらの火の物語－梧陵と海舟」を上演した。この公演は、令和 4 年に「第 20 回佐川吉男音楽賞」を受賞し、地域を越えた普遍性を持つ作品として高く評価された。

この他にも、氏の演出による上演作品は「『清姫』－渡し場の段－」、「魔笛」、こども向けオペラとしての「シンデレラ」など多岐にわたり、企画・演出・自身の出演のほか、若手の指導にも尽力し、多くの声楽家が育つ場を築き上げている。

また、和歌山県内の複数の音楽コンクールで 20 年以上にわたり審査員を務めたほか、こども達を対象としたオペラの舞台体験のワークショップや、唱歌を歌いながら学ぶ「唱歌の学校」の開催、音楽療法を活用したボランティア活動など、氏の音楽を通じた貢献の対象は幅広い世代にわたる。

人々に音楽の素晴らしさを伝え、本県に上質のオペラを根付かせる氏の功績は、誠に多大である。



令和 6 年度 地域文化功労者表彰（文部科学大臣表彰）被表彰者について

はやし ひさお

氏 名 林 尚夫

生 年 昭和 17 年

現住所 和歌山県和歌山市

氏は昭和 17 年に和歌山県で生まれ、同 40 年 3 月明治大学農学部農業経済学科卒業後、和歌山県農業信用基金協会に勤める傍ら、公益財団法人日本美術刀剣保存協会和歌山支部理事・副支部長・支部長を歴任し、日本刀製作及び関連技術の保存や普及啓発に多大な貢献をした。また、昭和 58 年から令和 6 年 3 月まで 41 年間、和歌山県銃砲刀剣類登録審査委員として刀剣登録の適正かつ円滑な審査に尽力した。

刀剣鑑定について、昭和 39 年から日本刀鑑定の第一人者である本阿弥光博氏に師事し、刀装具については、昭和 53 年から鑑定家の福士繁雄氏、笹野大行氏に師事した。昭和 58 年には「刀剣美術」誌に「鉄元堂尚房と成龍軒栄寿は同人である」を発表するなど、日本美術刀剣保存協会会員として日本刀の研究、鑑定技術の一層の研鑽に努めた。その識見や技術の高さに対して、和歌山県内の刀匠、刀装具師等から高い評価と厚い信頼が寄せられている。